

代表者名	田森洋道	所管部課名	農林水産部 農畜産振興課
所在地	秋田市河辺神内字堂坂2-1	設立年月日	昭和53年6月6日

【沿革及び県の出資理由】

秋田県における肉畜及び食肉流通の合理化を図り、もって畜産農家の経営安定と県民生活の向上に寄与する事を目的に、昭和53年6月6日に設立。と畜という広域的かつ公共的な事業を行う会社であることから、県も出資した。

【出資者】(19年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	445,710	33.8
市町村	25	16,000	1.2
その他	6	857,990	65.0
計	32	1,319,700	100.0

【事業】

①主たる業務

1,肉畜のと殺、解体。 2,枝肉及び副生物の買い取り並びに受託処理加工。 3,食肉及び副産物の加工並びに貯蔵販売。4,前各号に付帯する一切の事業。5,加工品の製造販売に関する事業。

②事業実績

(頭)

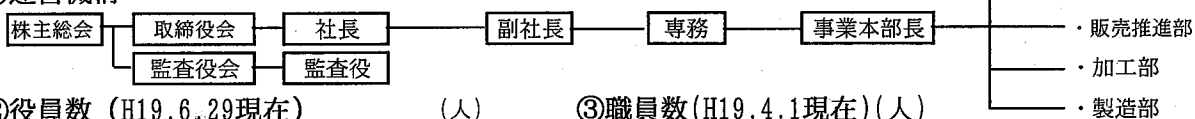
事業名等	16年度	17年度	18年度
豚と畜頭数	159,831	153,799	155,696
豚カット頭数	70,455	67,228	66,689

③18年度事業概要及び19年度事業計画・目標

- 平成18年度事業概要
豚と畜155,696頭、牛馬と畜5,026頭、豚カット66,689頭、牛馬カット1,143頭、枝肉・加工品販売高7,299百万円、総売上高7,742百万円
- 平成19年度事業計画
豚と畜155,700頭、牛馬と畜4,850頭、豚カット65,200頭、牛馬カット1,170頭、枝肉・加工品販売高7,154百万円、総売上高7,876百万円

【組織】

①運営機構



②役員数 (H19.6.29現在) (人)

	取締役	監査役
常勤	3	1
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	7	2
内、県退職者		
内、県職員		
計	10	3
内、県関係者	0	0

役員報酬支給対象者数	4人
役員報酬支給対象者平均年齢	57歳
平均役員報酬額	5,310千円/年

③職員数 (H19.4.1現在) (人)

正職員	41	正職員	正職員
内、県退職者		平均年齢	平均勤続年数
出向職員	14	42.7歳	16.2年
内、県職員			
臨時・嘱託	2	正職員平均年収	
内、県退職者		3,863千円	
計	57		
内、県関係者	0		

【財務】

①損益状況(18年度) (千円)

	金額
経常収入 A	7,753,203
受託事業収入	415,091
補助金収入	
自主事業収入	7,299,531
運用益収入	
その他	38,581
経常支出 B	7,699,425
人件費(役員含む)	347,356
その他	7,352,069
経常損益 C=A-B	53,778
経常外収入	0
経常外支出・諸税	27,202
当期損益	26,576

②財務状況(18年度末) (千円、%)

	金額	構成比
流動資産	1,043,865	53.9
固定資産	891,395	46.1
資産計	1,935,260	100.0
流動負債	352,764	18.2
短期借入金	41,484	2.1
固定負債	308,112	15.9
長期借入金	235,076	12.1
引当金等	74,121	3.8
負債計	734,997	38.0
資本金	1,319,700	68.2
剰余金	-119,437	(6.2)
資本計	1,200,263	62.0
負債・資本計	1,935,260	100.0

県の損失補償額	県の債務保証額

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	134,060	66,161	100.0%

【県の財政支出】

※外部積立(中小企業退職金事業団67,899千円)

(千円)

	16年度	17年度	18年度	支出目的・対象事業概要等
補助金		648		安全・安心あきたブランド推進事業
委託費	1,349			牛海綿状脳症スクリーニング検査促進事業委託
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	16年度	17年度	18年度	16-17増減	17-18増減
健全性	自己資本比率	%	56.19	60.47	62.02	4.28	1.55
	借入金依存率	%	23.96	22.21	16.43	▲ 1.76	▲ 5.77
	流動比率	%	281.83	334.60	264.77	52.77	▲ 69.82
収益性	剰余金 (▲欠損金)	千円	▲ 177,268	▲ 146,014	▲ 119,437	31,254	26,577
	経常利益率	%	0.94	0.82	0.69	▲ 0.12	▲ 0.13
	総資本利益率	%	3.89	3.24	2.78	▲ 0.65	▲ 0.46
発展性	経常収入額	千円	8,396,689	7,644,434	7,753,203	▲ 752,255	108,769
効率性	総資本回転率		4.13	3.94	3.92	▲ 0.19	▲ 0.02
	職員1人当たり経常収入	千円	144,771	131,801	136,021	▲ 12,970	4,221
	人件費比率	%	4.24	4.55	4.45	0.31	▲ 0.10

2 経営目標の達成状況

経営目標			16年度	17年度	18年度	19年度
経営改善指標	剰余金(千円)	目標	▲ 207,658	▲ 171,776	▲ 135,117	▲ 100,085
		実績	▲ 177,268	▲ 146,013	▲ 119,437	
事業成果指標	借入金残高(千円)	目標	537,240	481,020	424,800	235,076
		実績	487,240	431,020	276,560	
事業成果指標	と畜頭数(豚換算:頭)	目標	170,900	173,350	175,050	175,050
		実績	178,044	170,497	170,774	
事業成果指標	カット頭数(豚換算:頭)	目標	81,700	88,500	90,500	91,500
		実績	84,770	79,303	78,114	
	顧客満足度指数	目標	-	-	65	80
		実績	-	61	88	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

- 課題
 - 事業量の確保。
- 経営目標の達成状況への自己評価
 - 平成12年度から7期連続の単年度黒字が計上でき、累損の解消が順調に進んだ。
 - 借入金については、当期98百万円の繰上償還を実施し、着実に減少している。
以上、生産頭数の減少により、と畜・カット頭数が減少したほか、燃料費等経費の増嵩があったものの、経営の安定と健全な事業展開ができた。
- その他
当期より、長期借入金の内、1年以内返済予定額を短期借入金に記載しております。

4 総合評価(計算書類等の資料及びヒアリングによる評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
・当期利益26百万円は、7期連続の黒字であり高く評価される。借入金の繰上償還98百万円も財務体質の改善となっている。 ・しかし、と畜、カット頭数は減少し、売上高の増加は主に価格の高騰によるものであり、売上総利益は減少傾向のため、利益は経費削減により確保されている。 ・設備の老朽化に備えることも課題となっており、欠損金の解消のためには、と畜、カット数量等の確保による収益増加が必要となっている。	